

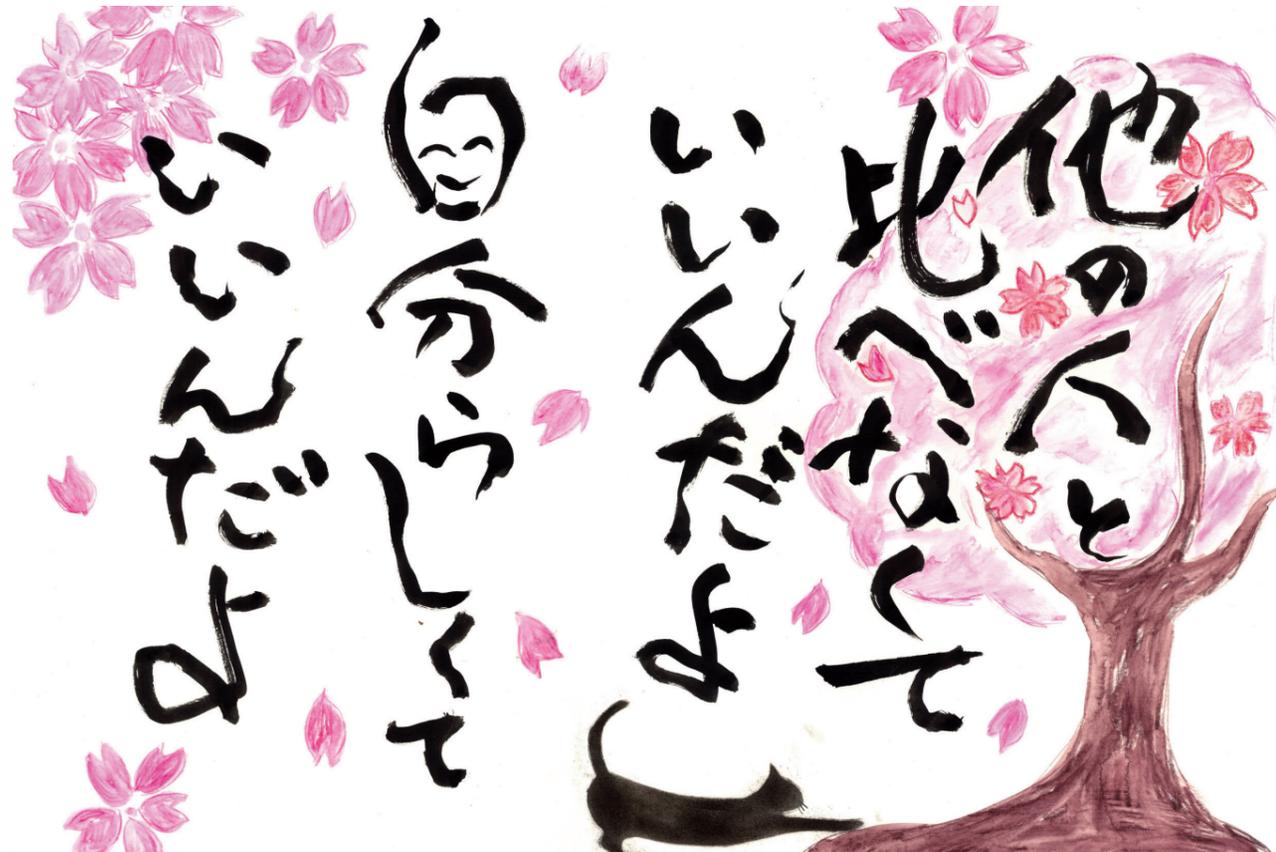
六字城

ROKUJIJO

2022/4/1

No.689

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



桜が開花し日本全国春爛漫の良き時節を迎えております。去る彼岸の中、別院の墓地には昨年より若千多くの人が訪れてくれました。コロナ感染者も減少になり、まん延防止等重点措置法も3月21日で解除されるということもあったのかも知れない。最近気にかかるのはテレビ報道・新聞にも「春分の日」とはあるが「彼岸の中」という文字はどこにも見当たらない。もう日常生活の中から「彼岸」という言葉は消えつつあるのかも。蓮如上人五十九才の折、吉崎御坊へ御参詣されたご門徒にしたためた『御文』がある。

抑々この吉崎の一字にして、彼岸の会と申すことは、春秋兩時に於いて、天正時正と申して、暑からず寒からず、昼夜の長短なくして直に西に没し、人民の往還たやすく、仏法修行のよき時節なるに依って、(中略)一向専念の人は、十人も百人も、残らず極楽に往生すべきことをとおとみ、その嬉しさに、ねてもさめても南無阿彌陀仏と申して、足手を運び信心相續あらば、ひとえに信行兩益の人というべし……。

おそらく、先人の方々は、上人の御勸化を真摯に受け、彼岸を大切に思い、お寺やお墓に参詣されて来たのでしよう。十年一昔という言葉があるが、まだ一昔前までは参詣者もおられた。なぜ今はこうなってしまったのか。もはや仏教・真宗は民衆の人々に受け入れられなくなってしまったのか。いや我々僧侶の危機意識が怠慢であったのか。

世の中は、さらに混迷が深まり、いきづまって生きている人々は、後を絶ちません。

天満別院は4月から新年度を迎えます。コロナ禍社会にあってどん底になりつつある人間性を回復し、一念発起して仏事の大切さを回復していただくことを願って新たにスタートいたします。さしあたって、日々お内仏を人間性回復道場とし、手が合わされ、頭がさがるすがたを大切にすることから始めていきましよう。

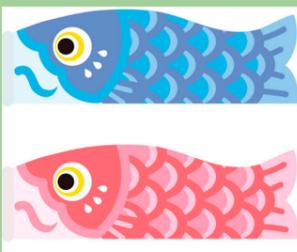
今こそ「人間性の回復」を
「我家のお内仏（仏壇）に手を合わそう」
武宮 信勝

法要・行事予定

4月	
12日	一如上人御祥月御命日 (8時) 闍如上人御祥月御遠夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御祥月御命日 兼日中 (8時)
14日	琢如上人御祥月御命日 (8時)
19日	同朋の会 (13時30分)
24日	綽如上人御祥月御命日 (8時) 定例法話 (13時30分) 松尾 華香師 (第12組 専立寺) 「日常の中の心理学」
27日	宗祖聖人御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時) 法話：輪番 武宮 信勝

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。

5月	
12日	闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
15日	天満別院合唱団「みのり」(※状況判断)
22日	常如上人御祥月御命日 (8時)
24日	定例法話 (13時30分) 沼田 和隆師 (第15組 大長寺)
27日	宗祖聖人御遠夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時) 法話：輪番 武宮 信勝



『六字城』表紙写真について

昨年度まで大阪城周辺の写真や別院墓地での花や小鳥たちを掲げてきました。今年度は、別院広報部に諮り検討し、心願寺(第13組)さんの掲示板で紹介された手作り伝道紙を掲載させていただきます。

掲載にあたり、心願寺住職 松井聰さんの許可を得ております。なお、イラストは心願寺衆徒 松井恵さんの作品です。

皆様の、心に響き渡ることになれば幸いです。

今月の伝道掲示板

他人より優れていることが
高貴なものではない
本当の高貴とは
過去の自分より
優れていることにある
アーネスト・ヘミングウェイ

編集後記

作業中に流す曲をお経にすると集中力が上がるそうです。理由として「内容がよく解らない」「サボると後ろめたい気持ちになる」などとさまざまです。毎朝、あげさせていたただいているのでこのような気持ちに気付いたことがありませんでした。

誰しも慣れて来た時に注意が必要で、す。新年度を迎えるにあたってもう一度新鮮な気持ちで毎日を迎えたいと思います。

本山（東本願寺）御用達

(株) 平安法衣舎

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

お念仏は何回となえれば良いのでしょうか？

南無阿彌陀佛



答え

私の祖母は「ねてもさめてもへだてなく」の文字通り「お念仏」を口癖のようにしていた人で、御飯を食べても「ナンマンダブ」トイレに行っても風呂に入っても「ナンマンダブ」祖母のいる拙寺は本堂・庫裏を問わず何処へ行っても「お念仏」が溢れていました。幼少の頃、近所で遊んでいる友人たちが道往く祖母を見て「ナンマンダブが歩いて来た」とよく揶揄したほどでした。

落ち着かなくなると「もつと心静かに十回は、お念仏しなさい」と苦言されてばかりでした。如何に叱られても子供のことでず義理か厄介のような「お念仏」はなかなか直りません。祖母の言う十回が長くて仕方がなかったのを覚えています。

考えてみれば祖母との間には、何時も「お念仏」がありました。本堂は祖母の「ナンマンダブ」の声しか覚えていないかもしれませぬ。自分の耳に残る祖母の「お念仏」の響きだけが、その面影を辿られる道標になっっているように思っています。

御経には「乃至十念」とか『乃至一念』というお言葉で我われを導かれています。それは「お念仏」は称える回数ではなく「聞く」心が肝要であることの御教えなのだと思えます。『たもちやすくとなえやすき名号』の響きによって自分の賜っていた広い背景に気づかされ自身の深い歴史に遭遇していくのでしょうか。
(第13組 道德寺 入江 賀彦)

報告

輪番人事のお知らせ

3月1日付で、宗務総長より左記のように発令されました。引き続き宜しくお願い致します。

記

輪番 武宮 信勝

2024年2月28日まで

新年度 別院教化テーマ

2022年度を迎えるにあたり、教化委員会の皆様の御承認を得て、左記の通りのテーマと主な施策を掲げました。

記

- テーマ **コロナ禍社会における人間性（信心・仏事）の回復**
- ～主な教化事業方針～
- 1、教化委員会のさらなる活性。
- 2、別院同朋の会を再開。
- 3、「花まつり」を復活する。
- 4、別院門徒会、特に婦人部活性化を進める。
- 5、別院合唱団「みのり」再開。

通常院議会 議決事項

去る3月24日（木）に通常院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行なわれました。

記

- ・2021年度経常部歳入歳出 補正予算書（案）について
 - ・2021年度事業部歳入歳出 補正予算書（案）について
 - ・2022年度経常部事業計画（案）及び歳入歳出予算書（案）について
 - ・2022年度事業部事業計画（案）及び歳入歳出予算書（案）について
 - ・墓地規則改定について
 - ・その他（報告事項）
- 全議案、全会一致で可決承認されましたことをご報告致します。また詳細につきましては、別院にお問い合せください。



告知

同朋の会のお知らせ

来る4月19日（火）同朋の会を左記の通り開催致します。いつもは、5日に開催しておりますが、今月は日時を変更して、造幣局の桜の通り抜けを計画致しました。一年ぶりの同朋の会ですので、皆様ぜひ、お越しください。

記

- ・日時 **4月19日（火）1時30分**
- ・集合場所 **天満別院 本堂**
- ・内容 **造幣局の桜の通り抜け**
- ・参加費 **無料**

※人数把握のためあらかじめ別院に参加のご連絡をお願い致します。



造幣局の八重桜

天満別院 花まつり復活！

ブットンくんが待ってます

別院では、教化テーマにのっとり「花まつり」の復活をご門徒、青年部会のご協力目指して来ましたが、

たくさんの子供たちに参加していただきたく左記の通り開催いたします。当日はNPO法人「縁遊くえんじょい」様にもご協力いただき、新鮮な野菜を安価で取り揃えた野菜マルシェを開催いたします。保護者の方はそちらも楽しんでみてください。

記



- 日時 **4月29日（金・祝）10時～灌仏（甘茶掛け）**

会場 **天満別院本堂・境内**

※詳細につきましては、同封のチラシをご参照下さい。



仏前結婚式

去る3月6日（日）、天満別院において佐野 洸文様、山本 かおる様の仏前結婚式を執り行いました。ご結婚おめでとうございます。



別院では仏前結婚式を随時受付しております。

真宗の結婚式は、阿彌陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていこうと誓いをたてあう厳粛な儀式です。

寺院関係の皆様だけでなく、ご門徒の方々の挙式も御遠慮なくお申し込みください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

春季彼岸会 勤修



去る3月21日（月）、春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨（物故者） 追弔法要が勤修されました。御講師には、第2組 即應 寺 藤井 善隆師にお越しいただきました。

藤井師は、「私の心はどこに生まれても我執（煩惱）に囚われて都合が良い世界で生きているために立脚地が解らなくなっている。お浄土から阿彌陀如来の命の呼びかけ（帰命）によって立脚地（無量寿）が解る」と話されていました。久しぶりのご法話で、皆さんも熱心にご聴聞されていました。